

平成 13 年 7 月 1 日

国際石油開発(株)(インペックス)  
東京都渋谷区恵比寿 4 丁目 1 番 18 号  
代表取締役社長 松尾 邦彦

石油資源開発株式会社  
東京都品川区東品川 2 丁目 2 番 20 号  
代表取締役社長 棚橋 祐治

イラン・イスラム共和国アザデガン油田の評価・開発に関するプロポーザルの提出について

イラン・イスラム共和国において 1998 年に発見されたアザデガン油田（下図参照）につきましては、昨年 11 月、ハタミ大統領訪日の際に調印されたイラン側と日本側との基本合意書（MOU）において、日本側から同油田の評価・開発に関するプロポーザルを本年 6 月末までに提出しなければならないこととなっていたところ、日本企業グループ（インドネシア石油(株)および石油資源開発(株)）は、NIOC（National Iranian Oil Company）に対して 6 月 30 日（土）にプロポーザルを提出いたしました。

今後、このプロポーザルに基づいて NIOC との交渉が開始される予定であります。アザデガン油田は、近年イランで発見された油田のなかでも最大級の規模を持つ大油田であり、日本企業の主導による開発を実現することができれば、イランと日本との関係強化に貢献するのみならず、日本のエネルギー安全保障の観点からも望ましい結果がもたらされるものと確信しております。

なお、プロポーザルの具体的内容につきましては、今後の交渉にかかわることであり、また守秘義務が課せられておりますので、コメントを差し控えさせていただきたく、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

